

歴史資料グループだより

第7号

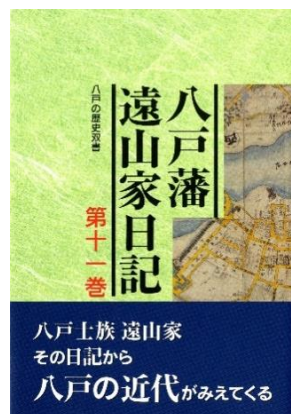
令和4年度の主な事業

八戸の歴史双書

『八戸藩遠山家日記』第11巻 刊行！！

遠山家日記は、八戸藩の家臣遠山家の当主が、寛政4年(1792)から大正8年(1919)まで代々書き継いだ日記です。127年にもわたる日記は全国的にも珍しく、平成28年(2016)に県重宝に指定されました。

最終巻となる第11巻は、明治41年(1909)から大正8年(1919)までの6冊の日記を収録しています。政治家である10代当主遠山景三^{かげみつ}は、鮫港の修築に関わるなど八戸の発展のために奔走します。ほかにも八戸水力電気株式会社の開業、日出セメント会社の誘致などが書き記され、八戸の近代の様子が読み取れます。



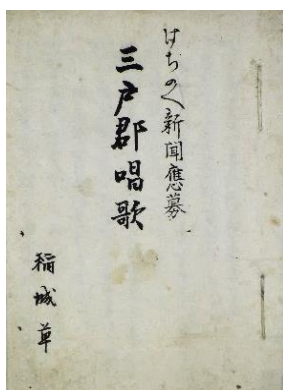
シリーズ最終巻

『八戸市立図書館収集文書目録』第5集 発行

当グループでは、地域に関する歴史資料を収集しています。収集した資料は、どなたでも利用できるように目録を作成します。

第5集には、令和3年度に寄贈された資料および再整理した資料を掲載しました。

収録資料の一つを紹介します。「三戸郡唱歌」は、はちのへ新聞が歌詞を募集したものです。この資料は稲城篤実氏^{いなきあつみ}がまとめたもので、歌詞の部分に朱字校正があることから草稿段階だと思われます。歌詞は七五調で、全20章あります。これは一等当選となりました。明治44年(1911)に三戸郡役所から刊行された『三戸郡』に掲載されています。



★収集資料クイズ★

八戸藩7代藩主 南部信房は、八戸俳諧の祖として知られる人物です。
その俳号は、次のうちどれでしょうか？

イ. 畔鳥

ロ. 李鶴

ハ. 畔李

ニ. 李州

(答えは裏面にあります)

博図連携「市民のための歴史講座」開催

令和4年度より、八戸市立図書館と八戸市博物館が連携した「市民のための歴史講座」が新たに始まりました。郷土の歴史に対する理解や関心を深めてもらえるよう、共通テーマによる年4回の講座です。

今年度は「学びの空間・学校」をテーマとし、講師の方々に近世・近代の学校について講演していただきました。延べ94名の方々が参加されました。

	日時	演題	講師
第1回	7月2日(土)	近世八戸の藩学校	滝尻 侑貴(八戸市立図書館 主査兼学芸員)
第2回	8月27日(土)	庄内藩校・致道館について	菅原 義勝(致道博物館 主任学芸員)
第3回	12月17日(土)	写真資料から見る青森県の学校	中園 裕(青森県県民生活文化課 総括主任)
第4回	1月14日(土)	青森県の女性教育	北原 かな子 (青森中央学院大学 図書情報センター長)

☆令和5年度のテーマは「八戸は海と共にある」です。



「第37回 古文書解読講習会」開催

当館では、多くの古文書を所蔵しています。これらに親しんでもらうため、「くずし字」の基礎を学ぶ古文書解読講習会を開催しています。

今年度は、中世～近代の八戸に関する史料をテキストとして学習しました。

全5回で、延べ56名の方々にご参加いただきました。

	日時	内容	
第1回	10月23日(日)	古文書ってなんだろう	概説・辞書の使い方
第2回	10月30日(日)	中世の資料を読もう	室町・戦国時代の古文書
第3回	11月6日(日)	近世の資料を読もう(1)	江戸時代の古文書
第4回	11月13日(日)	近世の資料を読もう(2)	江戸時代の古記録(日記)
第5回	11月20日(日)	近代の資料を読もう	明治時代の古記録(日記)

★クイズの答え★

ハ. 畔李

畔李は「互扇楼」、「花咲亭」、「五梅庵」を号しました。

令和3年度に収集した『新題林和歌集』には「花咲亭畔李」の署名があり、その俳号を名乗っていた文化6～12年(1809～1815)の時期に所有していたものだと考えられます。

- ※誤答解説
- イ. 星霜庵畔鳥(野中頼母、八戸藩士)
 - ロ. 観涛亭李鶴(よし、畔李の正室)
 - ニ. 花月堂李州(森川とゑ、畔李の側室)



発行・編集

八戸市立図書館 歴史資料グループ

〒031-0022 八戸市大字糠塚字下道2-1

TEL・FAX 0178-73-3234

E-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp